

## 第9回 京都現代経済学ゼミナール募集要項

申し込みは、「申込書」に必要事項を記入し受講料をそえて申し込んでください。FAXでも申し込み出来ます（受講料は第1講義日をお願いします）。

募集の定員は、60名です。（定員になり次第〳切ります）

講義時間は、午後1時～5時（休憩も含みます）

受講料は、13,500円（税込み）です。

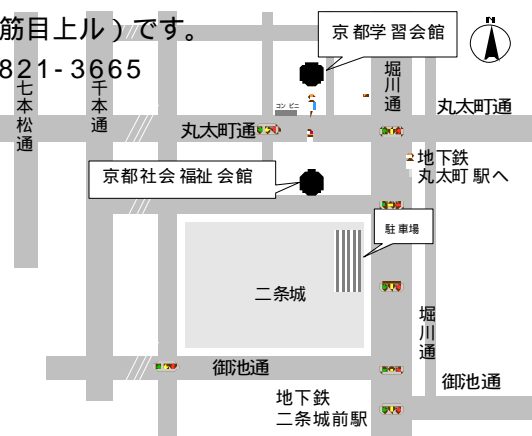
参考文献の注文の方は、申し込み用紙にチェックを

『京都学習会館』（上京区堀川丸太町西一筋目上ル）です。

電話（075）841-8141 FAX（075）821-3665

自転車・バイク・自動車の駐車場はありません。二条城市営駐車場へお願いします。（自転車は会館の周りは住宅街ですので止めることは出来ません）

地下鉄丸太町駅・二条城前駅から『京都学習会館』まで歩いて10分以内です。



世界の構造変化をとらえる 第4弾!!

Kyoto Contemporary Economics Seminar vol.9

第9回 京都現代経済学ゼミナール

講師：芦田 文夫・立命館大学名誉教授

現世「社会主義論」



申込先は.....  
京都労働者学習協議会  
〒602-8147  
上京区堀川丸太町西一筋目上ル  
『京都学習会館』内  
電話（075）841-8141  
FAX（075）821-3665

京都学習協のホームページ《京都学習情報》<http://kyoto-gakusyuu.jp/>

第9回京都現代経済学ゼミナール申込書	申込み日時	年	月	日
フリガナ:		性別		年齢
氏名:		男・女		才
現住所:				
職場・学園:				
労働組合名:	(全国単産名: )			
電話: 職場 ( )		自宅 ( )		

「参考文献」注文チェック

不破哲三著 『マルクス未来社会論』 『21世紀の世界と社会主義』 『激動の世界はどこに向うか』

京都学習協 第9回現代経済学ゼミナール  
講師 芦田 文夫 立命館大学名誉教授

# 現代「社会主義論」

芦田文夫先生からのよびかけ

いま、マルクスの『資本論』と「未来社会 = 社会主義」についての考え方が、再び人々の関心をひき、世界的にも一種のブーム現象をおこしている、といわれています。資本主義の総本山アメリカ発の「世界経済危機」から抜け出す途がまだ見いだせず、政治の上にも社会全体にも閉塞感がただよっています。働いても食えない「ワーキング・プア」、保育・教育・医療の破壊、人間の労働と生活・生命の根源、人間の尊厳そのものを脅かすようにまでなった利潤第一主義の資本主義 それを根底から捉え直し、その枠組みを越えるところにまで将来展望を追っていかう、という動きが出てくるのは当然なのでしょう。いま、アジアでも、中南米でも、アラブでも、世界はどこでも大きな構造変化を起しつつあります。

このような時、もう一度「資本主義」とその枠組みを越える「未来社会 = 社会主義」について、根本からその理論、歴史、現状を考え直してみませんか。現代の課題にそって、人間らしい労働と生活にどう高めていくのか、「自由・平等、民主主義」をどのように発展させていくのか、そして「市場経済（の利用と制御）をつうじて」どのようにアプローチしていくのか、そんなところに焦点を当ててみたいと思っています。「ソ連・東欧」の体制崩壊にともなって、さまざまな考え方や理論が出されてきていますが、それらをまずは出来るだけ全体的に紹介し、皆さん方との質疑と討論で深めていけるような、“断定的でない”研究的な講義の進め方をしたいと考えています。

取り上げたいテーマは

[第1講] マルクス『経・哲手稿』から、史的唯物論を経て、『経済学批判要綱』『資本論』、『ゴータ綱領批判』へ、人間「疎外」からの解放と資本・賃労働関係の止揚という理論軸にそって再考していく。参考文献；不破哲三『マルクス未来社会論』。

[第2講] 資本主義の歴史的発展を3つの段階に分け、「自由・平等、民主主義」と「社会主義」との相互関係を、具体的な歴史的条件をとおして検討していく。参考文献；藤田勇『自由・平等と社会主義』『自由・民主主義と社会主義』。

[第3講] 「旧・現社会主義」における「市場移行」の教訓をふり返りながら、資本主義から社会主義への移行における「市場経済」の利用と制御、経済主体（所有・経営と労働・生活）の自立性・自由と平等化、「社会的な統合」（計画性）のあり方を考える。

[第4講] 「ソ連」とは「どんな社会だったのか?」、中国の「社会主義をめざすとは?」。様々な「社会主義」説・「資本主義」説・「非社会主義・非資本主義」説、あるいは「社会主義的市場経済」「社会主義を志向する」「(国家)資本主義」、それら諸説とその根拠を整理しながら、経済・社会の実際ともつき合わせて、観ていく視点を深める。

[第5講] 現代世界の大きな構造的変化のなかから、「人類的課題」といわれるものの意味、「未来社会 = 社会主義」につながっていく手掛かりを考えていく。参考文献；不破哲三『21世紀の世界と社会主義』『激動の世界はどこに向かうか』

毎回、詳しいレジュメ、参考文献の解説、を準備したいと思います。毎月一回の日曜日、半日かけてじっくり思索し、未来のロマンに思いを馳せてみませんか。



## Kyoto Contemporary Economics Seminar vol. 9

日程	カリキュラム
5月8日 日曜日	第1講義 マルクスの未来社会論
6月5日 日曜日	第2講義 資本主義の歴史と社会主義論 「自由・民主主義」を軸に
7月3日 日曜日	第3講義 「市場経済」をつうじる社会主義
8月7日 日曜日	第4講義 「ソ連」と「中国」をめぐる社会主義論
9月4日 日曜日	第5講義 現代世界の構造変化と未来社会論